



秋葉厚労理事 ACTIVE PHOTOGRAPHY

秋葉代議士は、衆・厚生労働委員会の理事として、社会保障制度及び労働事情等調査の為、ドイツ、ポーランド、ベルギー、ルクセンブルグを視察して参りました。今月号では、各国の現況についてご報告させていただきます。

ドイツ

ドイツは基本的価値を共有する国際問題に協力して取り組む、日本のパートナーであり、在留邦人は4万2千人以上、進出日系企業は1777社に上っています。



ストロップ連邦保健省事務次官との意見交換

ドイツ連邦保健省は、保健・医療・衛生・介護の分野の行政を担う官庁です。厚労副大臣の経験をもつ秋葉理事から、がん対策に係る法令やがん検診の受診率向上に向けた取り組みについて、ストロップ事務次官と意見を交換致しました。



クニープス企業疾病金庫中央連合会会長と懇談

医療保険者の全国組織である「企業疾病金庫中央連合会」のクニープ会長と、介護保険制度の運営、家庭医制度等をめぐり懇談致しました。



高齢者センター・ディアコニーステーション(介護施設)を視察。ディアコニー協会とは、ドイツ全土において社会福祉事業を行っているキリスト教系の福祉団体で、この施設は定員100名のところ96名が入所しており、平均入所期間は約15年だそうです。



在ドイツ日本大使館の八木大使と大使公邸で意見交換。八木大使よりドイツの現状についてお話を伺いました。



シャリテ医科大学病院(独)を視察

欧州最大規模の大学病院であり、国際的に最高レベルの治療・研究・医療従事者の養成が行われる研究教育施設で、本年で創立306年の歴史を有します。感染症対策(ドイツ国内8ヶ所)の内、最大20床ある隔離棟を視察しました。

ベルギー

ベルギーの首都ブリュッセルは、欧州の経済中心地であり、EUとNATOの本部所在地。蘭語、仏語、独語、英語が通用するため、企業の欧州進出の拠点にもなっています。



保育所を視察

カトリック系NPOが運営する公立保育所を伺い、待機児童の問題に対するベルギーの取組について意見交換致しました。



欧州委員会雇用・社会問題・統合総局は、欧州委員会の33の総局の一つ。雇用・社会政策を所管しています。EU域内における労働者の移動の自由等について意見交換。



欧州議会

欧州議会には、欧州議員751名の議席の他、欧州委員会、欧州理事会の席が設けられていました。



欧州委員会オルセン雇用局長と。

ポーランド

ポーランドは、89年の民主化後、99年NATO加盟、2004年EU加盟を果たし、NATO及びEUへの関与・協力強化を国家安全保障の柱に位置付けています。日本との関係では、戦後57年に国交回復以来、2017年で60周年を迎えます。



ポーランド下院を表敬訪問

ポーランドも、下院(定数460名:任期4年)、上院(定数100名:任期4年)の二院制を採用しています。今回、ペアタ・マズレク社会政策・家族委員長を表敬訪問し、ポーランドの社会政策についてお話を伺いました。



家族労働社会政策省を表敬訪問

シュヴェッド次官より、ポーランドの家族政策についてご説明頂き、家族政策をめぐるとの問題について意見交換致しました。



ポーランド進出日本企業(YKK)の工場視察

在ポーランド日本大使館の松富大使、ランジYKKポーランド社長と意見交換。



ワルシャワの高齢者専門病院を視察

ルクセンブルグ

欧州委員会保健・食品安全総局の所在地であるルクセンブルグを訪問し、同国の多様な社会保障制度について現地調査を行いました。



欧州委員会事務局保健総局公衆衛生・危機管理担当のスタップと、EU(欧州連合)としての公衆衛生への取組、EUによるエボラ出血のような重大な感染症への対応と今後の課題について意見交換。



欧州委員会保健総局ライアン局長代人と





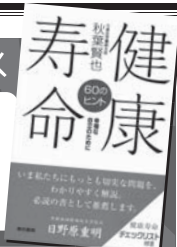
『健康寿命』(東京書籍)の著者・秋葉代議士に聞く

健康寿命を延ばそう!

Q&A Part 1



「健康で長生きしたい!」と思うのは、私だけではなく、皆さんも抱く願ではないでしょうか。この願について研究を重ねまとめた著書『健康寿命』(東京書籍)に基づき、今月号からシリーズで、「健康寿命を延ばそう!Q&A」をお届け致します。



Q そもそも「健康寿命」って何ですか?よくテレビ等で耳にする「平均寿命」とは、どう異なるのですか?

▶「平均寿命」は0歳児の平均余命、つまり生まれたばかりの赤ちゃんが平均してあと何年生きられるかを示します。これに対し、「健康寿命」は健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間(厚生省「健康日本21」)、つまり介護を必要とせずに健康に生きられる期間を言い、これは2000年に世界保健機関(WHO)が提唱した新しい概念です。『成26年版厚生労働白書』によれば、平成25年の日本人の「平均寿命」は、男性が80.21歳、女性が86.61歳、「健康寿命」は、男性が71.76歳、女性が74.21歳と、世界最高水準に達しています。問題は、「平均寿命」と「健康寿命」の差が、男性では9年間、女性では13年間もあることです。

Q なぜ、「平均寿命」と「健康寿命」の差があることが問題なのですか?

▶「平均寿命」と「健康寿命」の差は、日常生活に制限がある期間(不健康な期間)を意味します。従って、男性に比べ女性の方が、不健康な期間が長いといえます。「健康寿命を(平均寿命と同じ期間まで)延ばす」ことは、病気や寝たきりになって介護を受けるのではなく、自立した健康な状態で長寿を目指すことなのです。

Q 日本人の「平均寿命」と「健康寿命」は世界水準に達しているとおっしゃいましたが、日本国内では地域によって差があるのですか?

▶はい、地域差があります。日本国内でも、「平均寿命」は地域によって異なりますし、また、国内における「平均寿命」と「健康寿命」の順位も異なっています。まず、「平均寿命」については、厚生省の「平成22年都道府県別生命表」によれば、もっとも長いのが男女とも長野県、もっとも短いのが青森県となっています。その長短の差は、男性3.6年、女性は1.84年です。他方、「健康寿命」がもっとも長いのは、男性は愛知県、女性は静岡県、もっとも短いのは、男性は青森県、女性は滋賀県です。

Q 「平均寿命」について地域差があるのは、どのような原因があると考えられているのでしょうか?

▶平均寿命に地域差が出る原因としては、若い世代も含めた生活習慣病の発症率、食塩の摂取量、喫煙率、また働き盛りの世代の経済的理由や病気を苦にした自殺率の高さ、が挙げられています。平均寿命のもっとも短い青森県の男性は、習慣的喫煙率・飲酒習慣の割合が全国1位、食塩摂取量は2位、肥満の割合は9位で、野菜摂取量は31位、一日の歩数量は46位となっています。

がん発症率の地域間・男女間の相違

国立がん研究センターは、「地域がん登録」データベースを活用して、2012年に新たにかんと診断された患者数と発症率の全国推計値を6月末公表しました。そこで、この推計結果のポイントをわかり易くご説明致します。

Q1 「地域がん登録」って何ですか?

▶「地域がん登録」は、都道府県のがん対策を目的に1950年代から一部の県でスタートしていましたが、2012年にはこれまで参加していなかった埼玉県や東京都等も参加し、初めて47都道府県のがん登録データベースがそろった為、全国47都道府県での比較が可能となりました。

Q2 がん全体の発症率が高い県トップ3を教えてください。

▶がん全体では、男性が秋田県、和歌山県、石川県、女性は東京都、福岡県、石川県となっています。

Q3 今回の推計結果のポイントは?

▶まず、乳がんの発症率について、東京都が突出して高かったことがあげられます。乳がんは女性ホルモンのエストロゲンに長くさらされている人ほど発症しやすい傾向があり、東京では結婚年齢が高く出産を経験していない女性が多いことが原因として指摘されています。次に、胃がんですが、男性が秋田県、新潟県、山形県が多く、女性は、秋田県、石川県、山形県の順で多く、食塩摂取量の多い東北・北陸の日本海側に多いことが指摘されています。他方、部位別の発症数については、男性は、胃がん、大腸がん、肺がん、前立腺がんの順に多く、女性は、乳房がん、大腸がん、胃がん、肺がん、子宮がんの順で多くなっています。男女間で発症しやすい部位にも大きな違いがあることも明らかです。

仙台市では既に始めています

地方版ハローワーク

職業安定法改正により、これまで国への届出が必要だった「地方版ハローワーク」が、今月下旬から国への通知のみで自治体が自由に設置できるようになります。仙台市では平成25年4月から、ハローワークが行う無料職業紹介業務と自治体が行う福祉等業務をワンストップで実施しています。

- ハローワーク仙台 TEL 299-8811 (宮城野区榴岡4-2-3 仙台MTビル3・4階)
 - ハローワークプラザ泉 TEL 771-1217 (泉区泉中央1-7-1 泉中央ビル4階)
- 仙台市では、無料職業紹介、雇用保険業務、求人情報提供等を、一体的に行っています。詳しくはお近くの窓口まで。

無年金者対策で約64万人が年金受給対象になります!

受給資格期間

現行法 25年 → 改正法 10年

今秋の臨時国会で成立をめざしている「年金制度改革法案」では、年金の受給に必要な加入期間(受給資格期間)を、次のように短縮しています。

たとえば、受給資格期間が15年で、これまでは年金を受給できなかった方も年金を受け取ることができるようになります。そのため、法案の早期成立をめざします!

【活動ブログ】 www.akiba21.net 【ツイッター】 @akibakenya 【フェイスブック】 衆議院議員 秋葉賢也 検索

現地現場主義

秋葉代議士は初当選以来、金帰月来《金曜夜に仙台に帰り、月曜朝駅頭を一夜に東京に戻る》を続けています！

秋葉賢也パワー結集大会

国政報告会の拡大版として、サンピア仙台・イズミティ21・宮城野区文化センターの3会場で開催され延べ人数1000人を超える皆様に参加していただきました。ご参加いただいた皆様に心より感謝申し上げます！



第66回“社会を明るくする運動”

今年も仙台駅スタンドグラス前で開催されました。犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域社会を築こうとする全国的な運動で、秋葉代議士も「更生保護を考える議員の会」事務局長として、この活動を応援し続けています。

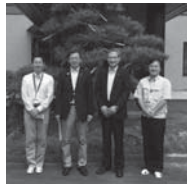


地元工場及び研究拠点を視察

多種多様なコア技術を駆使して、仙台の地から世界に向けて発信・展開を続ける同社の今後益々のご発展をご祈念申し上げます。



パナソニック(株)仙台工場



(株)パナソニックシステムネットワーク開発研究所

将棋日本シリーズJTプロ公式戦/テーブルマークこども大会

国内最大規模の将棋大会が夢メッセで開催されました。日本の伝統文化である将棋を通じて地域社会の活性化および子どもたちの健やかなるココロの成長を育みたいとの想いが込められています。



～ kenya's PLOFILE ～

- 昭和37年7月3日宮城県丸森町生まれ。寅年・蟹座・A型。
- 角田高校を経て、中央大学法学部卒業、東北大学大学院法学研究科博士課程前期修了(法学修士)、同法学研究科博士課程後期満期退学。
- (勲)松下政経塾卒塾(第9期生 宮城県初)を経て、宮城県議会議員(3期)、総務大臣政務官、厚生労働副大臣および復興副大臣、東日本大震災復興特別委員長を務める。現在、衆議院議員(5期目)、厚労委員会理事、震災復興特委員。
- 母校の中央大学商議員や保護司のほか、東北医科薬科大学講師も務める。
- 著書:『健康寿命-60のヒント-』(東京書籍)、『厚生労働省改造論』(イースト新書)、『松下幸之助「最後の言葉」』(角川SSC新書)、『東北の夢創造』(ぎょうせい)ほか。
- 特技:書道二段・空手初段。
- 趣味:ジョギング・音楽・映画。
- 尊敬する人:マザーテレサ、松下幸之助。

タウンミーティング

(国政報告会)

8月19日(金) 19:00 **泉区** 八乙女コミュニティセンター (七北田字田中1-2)

8月20日(土) 19:00 **宮城野区** 岩切市民センター (岩切三所北南88-2)

8月22日(月) 19:00 **若林区** 南材コミュニティセンター (南小泉八軒小路5-4)

秋葉賢也 著書一覧

全国主要書店やアマゾンなどのウェブ上でも販売をいたしております



5冊目

『健康寿命』

最新刊

(東京書籍) 2016年発行

厚生労働副大臣を経験した著者が、「健康寿命」を切り口に、「ひとりでも多くの方に、健康で長生きしてもらいたい」という願いから、健康維持や健康寿命の延伸をかなえる為の身近な参考書

定価1400円



1冊目

『東北の夢創造』

(ぎょうせい) 1993年発行

松下政経塾で学んでいた当時20代の著者が、可能性に満ちた東北の将来像を大胆に論じた渾身の書

定価1500円



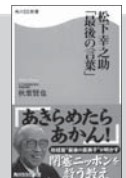
2冊目

『地方議会における議員立法』

(文芸社) 2001年発行

宮城県議会議員として3期10年務め、数々の議員立法を立案してきた著者が、政治家はローメーカー(立法者)でなければならないという問題意識から、議員立法の現状と課題を実証的に分析した労作

定価1500円



3冊目

『松下幸之助「最後の言葉」』

(角川SSC新書) 2011年発行

松下政経塾第9期生として恩師松下幸之助塾主から直接薫陶を受け、心に響いた思いを熱く語る

定価760円



4冊目

『厚生労働省改造論』

(イースト新書) 2015年発行

増田寛也元総務大臣推薦!元厚生労働副大臣が斬る! 「医療・介護・年金」問題の核心を握る巨大省庁の深層

定価861円



秋葉賢也 事務所

www.akiba21.net

仙台市泉区上谷刈4-17-16

Tel 022(375)4477 Fax 022(375)0057

購読料 年額10,000円 編集 榎アクトジャパン

※ **お願い** 本紙「サポーターズタイムズ」を是非ご購入ください
⇒ お申込みは仙台事務所までお電話(☎022-375-4477)を!!

ハガキや切手を、是非、カンパ下さい!!